

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	免疫・代謝学 Immunology and metabolism			DM_1402	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)				
担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他							
板橋	◎河野 肇 安部 良 (特任教授)	菊地 弘敏 (病院准教授)		浅子 来美	本田 善一郎 (非常勤講師)							
-												
-												
	免疫・代謝学Ⅰ (1年次)			免疫・代謝学Ⅱ (2年次)				免疫・代謝学Ⅲ (3年次)				
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	<p>リウマチ性疾患を正しく診断し、良好なコントロールを行うことができるようになるために、リウマチ性疾患診療のガイドラインを理解し、生活指導・薬物療法の実際を身につけ、全身の臓器病変の病態に応じた検査・治療方法を講義・演習・実習を通して学ぶ。リウマチ性疾患の病態の把握、リウマチ性疾患の鑑別を学ぶ。種々のガイドラインを踏まえた治療目標を作成できる能力を身につける。講義では免疫・代謝医学を学び、内科スキルアップセミナーに参加する。演習では総合内科カンファレンス、糖尿病内分泌カンファレンス、膠原病カンファレンス、内科集談会等に出席し症例検討・発表を行う。また、英語文献抄読を行う。実習ではリウマチ膠原病・代謝領域を含む内科症例の診療および超音波検査をを指導医の監督下に行う。</p>			<p>リウマチ性疾患の発症・進展の機序について特に自然免疫の関与の面から検討を行い、その重要性を講義・演習・実習を通して学び理解する。QOLをふまえた生活指導を学ぶ。薬物療法の進め方を組み立てる能力を身につける。講義では「免疫・代謝学Ⅰ」に引き続き臨床免疫学、代謝医学を学び、内科スキルアップセミナーに参加する。演習では「免疫・代謝学Ⅰ」に引き続き各カンファレンスに出席する。抄読会を行い指導医と共に入院症例の診療を担当する。実習では指導医の監督下で、引き続き総合内科病棟で内科症例の診療を行い、外来においてリウマチ膠原病・代謝領域を含む内科症例の診療および超音波検査を行う。</p>				<p>治療達成の度合い判定を学ぶ。卒前教育、卒後教育を指導的立場で担当し、診断や治療で生じた科学的問題、および医療上の問題に対応し、それを的確に解決できる能力を身につける。講義では「免疫・代謝学Ⅱ」に引き続き免疫・代謝学を学び、内科スキルアップセミナーに参加する。演習では「免疫・代謝学Ⅱ」に引き続き各カンファレンスに出席し邦文ないし英文で症例報告をまとめる。抄読および超音波検討を行い指導医に相談できる環境で外来症例でも甲状腺超音波検査を行う。実習では指導医に相談できる環境で、引き続き内科症例の診療を行い、リウマチ膠原病・代謝領域の専門外来を担当する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リウマチ性疾患の病態を把握できる。 ・代謝性疾患の病態を把握できる。 ・リウマチ性疾患の鑑別ができる。 ・代謝性疾患の鑑別ができる。 ・種々のガイドラインを踏まえた治療目標を作成できる。 ・QOLをふまえた生活指導がおこなえる。 ・免疫性疾患、代謝疾患の機序についての基礎研究を遂行できる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・リウマチ性疾患の薬物療法の進め方を組み立てることができる。 ・代謝性疾患の薬物療法の進め方を組み立てることができる。 ・リウマチ性疾患の治療達成の度合いを判定できる。 ・代謝性疾患の治療達成の度合いを判定できる。 ・免疫性疾患、代謝疾患の機序についての基礎研究を指導医と立案、遂行できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・卒前教育、卒後教育を指導的立場で担当できる。 ・診断や治療で生じた科学的問題、および医療上の問題に対応し、それを的確に解決できる。 ・免疫性疾患、代謝疾患の機序についての基礎研究を自ら立案、遂行できる。 ・学会発表を行う。 				
事前事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・リウマチ病学テキストの通読。 ・リウマチ性疾患、代謝疾患の各種ガイドラインの通読。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。 			<ul style="list-style-type: none"> ・UpToDateのリウマチ性疾患、代謝疾患の項を通読。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。 				<ul style="list-style-type: none"> ・基礎研究に関連した論文を週に1本通読。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。 				
評価方法	受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%			受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%				受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%				

■主な演習(講義・実習含む)

	免疫・代謝学Ⅰ (1年次)	免疫・代謝学Ⅱ (2年次)	免疫・代謝学Ⅲ (3年次)
板橋	金 曜日 13 : 00 ~ 15 : 00 代謝疾患における免疫学	月 曜日 13 : 00 ~ 15 : 00 臨床免疫学	月 曜日 13 : 00 ~ 15 : 00 臨床免疫学
	月 曜日 13 : 00 ~ 15 : 00 臨床免疫学	金 曜日 13 : 00 ~ 15 : 00 代謝疾患における免疫学	金 曜日 13 : 00 ~ 15 : 00 代謝疾患における免疫学
	火 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 リウマチ膠原病・代謝疾患演習	火 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 リウマチ膠原病・代謝疾患演習	火 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 リウマチ膠原病・代謝疾患演習
	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :
曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	

教科書・参考書

リウマチ病学テキスト、UpToDate

その他履修上の注意事項

基礎実験、臨床演習のために海外の提携機関、研究室における研修を行うことがある。
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	内分泌・代謝学・糖尿病学系の関連領域
	共通科目	代謝医科学特論

関連する専門医資格

日本内科学会総合内科専門医、総合診療専門医、日本リウマチ学会専門医、日本アレルギー学会専門医、日本動脈硬化学会専門医、日本痛風・核酸代謝学会認定痛風医

キャリアパス(モデルコース)

